

共通科目

(専門職学位課程)

| | | | | |
|-----|----------|-------------------------|----|------|
| 科目名 | 調査・研究法概論 | code number : ID 211 | 選択 | 1 単位 |
|-----|----------|-------------------------|----|------|

| | | | | | | | |
|-------|----------|------|--------|-------|-----|------|----|
| 科目責任者 | 高橋 謙造 教授 | | | | | | |
| 配当年次 | 1年次 | 配当学期 | 前期(前半) | 曜日・時限 | 3日間 | 授業方法 | 講義 |

1. 授業の概要

公衆衛生の実践に必要な素養としての調査研究の全体像を理解する。
MPH取得の上で是非身に付けておくべき、調査・研究法の基礎(Input:情報の入手・管理法、情報の分析法、Output:情報の表出法)について習得することを目的とする。
加えて、本学の特徴である、問題解決型アプローチの実例についても紹介する。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

1. 研究を大学院で初めて行う学生が、その概要と流れを把握できるようにする。特に課題研究を進めるにあたっての基礎を修得する。
2. 効率的かつ確実な業務・研究の取り回しは、仕事の成果を左右する。このような理解の上に、幅広い視点から調査・研究法の基礎を学び、実践できることを目標とする。

【行動目標(SBO)】

1. 調査研究を行う意義とその全体像の概要を説明できる。
2. 調査研究に必要な情報について
 - ・適切に情報入手、管理ができる。
 - ・適切に基礎的な集計ができる。
 - ・適切に情報発信する方法が理解できる。

3. 成績評価の方法および基準

- (1)授業への積極的な参加(40%)
 - (2)レポート提出評価(60%)
- ただし、無断欠席に際しては、減点の対象となる。

4. 教科書・テキスト

- ・特に指定しない。

5. 参考書

- ・考える・まとめる・表現する-アメリカ式「主張の技術」- 大庭コテイさち子 NTT出版
- ・論理が伝わる世界標準の「書く技術」「パラグラフ・ライティング」入門 -倉島保美 講談社
- ・アカデミック・スキルズ、佐藤望ほか、慶應義塾大学出版会
- ・わかりやすい医学統計の報告-医学論文作成のためのガイドライン、大橋靖雄ほか、中山書店

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・当日、簡潔な背景説明は行うが、文献類(事前に配布する)は読み込んでおくことが望ましい。
- ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・調査研究に必要な倫理的配慮については、詳しくは公衆衛生倫理学等で学ぶ。
- ・調査研究に用いるデータ、質問票とスケール等について、詳しくは社会調査データ解析概論で学ぶ。
- ・学術論文を読む方法について、詳しくはスタディクリティークで学ぶ。
- ・文献検索の方法について、詳しくは健康医療情報学講義で学ぶ。
- ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

調査・研究法概論

| 回数 | 日付 | 時限 | 担当者 | 授業内容 |
|----|--------|----|---------------------------------|--|
| 1 | 4/7(水) | 1 | 井上まり子 准教授 | はじめに 1. 調査研究をはじめるあなたへ 2. 日常の問題意識をリサーチ・クエスチョンにする 3. 公衆衛生の問題解決型アプローチとは *詳しくは疫学講義で学ぶ |
| 2 | 4/7(水) | 2 | 桑原 恵介 講師 | 調査研究の実践 1. 研究計画立案と研究デザイン 2. 調査研究に必要な倫理的配慮: 実践者の倫理、倫理審査の心得と手順 *詳しくは基礎生物統計学で学ぶ |
| 3 | 4/7(水) | 3 | 崎坂香屋子 准教授 | 調査研究の実践 3. 質問票調査の手順 (研究対象のサイズ決定、サンプリング法、フィールドとの交渉法) |
| 4 | 4/7(水) | 4 | 桑原 恵介 講師 | 調査研究の実践 4. 何をどう測定するのか。 調査研究に用いるデータ、質問票とスケール |
| 5 | 4/8(木) | 1 | 高橋 謙造 教授 崎坂香屋子 准教授 | 調査研究の実践 5. 組織分析、ステークホルダー分析の手法 |
| 6 | 4/8(木) | 2 | 井上まり子 准教授 | 情報整理の技術 1. 学術論文の種類と構成 収集した学術論文を読む方法 |
| 7 | 4/8(木) | 3 | 高橋 謙造 教授 | 情報整理の技術 2. 研究で得られたデータの管理 データを入力する: Excelシートのデザイン、 ダブル・エントリーと代替法、データクリーニング Excel活用法(関数、ピボットテーブルなど) |
| 8 | 4/8(木) | 4 | 高橋 謙造 教授 | 情報整理の技術 3. 情報の整理のために必要なこと ファイルの行方不明をなくす-ファイル名管理法 PDCAを意識した業務管理 論文管理データベースとJournal Alert登録 図書館とデータベースの利用・文献検索の基礎 |
| 9 | 4/9(金) | 1 | 金森 悟 講師 津田 洋子 講師 加藤 美生 助教 | 調査研究の実践 6. 過去の調査研究紹介 - 教員の実践例から- |
| 10 | 4/9(金) | 2 | 高橋 謙造 教授 崎坂香屋子 准教授 | 人に伝える 1. プレゼンテーション方法 (模擬国際学会での報告演習) 2. Powerpoint活用実習 |
| 11 | 4/9(金) | 3 | 高橋 謙造 教授 | 人に伝える 3. 行政への報告書の書き方, Academic Writingの手法 |
| 12 | 4/9(金) | 4 | 高橋 謙造 教授 崎坂香屋子 准教授 | 人に伝える 4. IMRAD/Non-IMRAD方式での論文の書き方、カバーレターの書き方 |